

# 7. カンジダ症について

## 1. 原因及び感染経路

カンジダは健常人の糞便、膣、咽頭、口腔、皮膚の常在菌で、体力や免疫の低下した場合には病原性を示すことが多くあります。

密封され湿った状態になり易いガーゼ付救急バンソウコウの長時間貼りっぱなしや、指の間が湿っている状態、腋の下、乳房の下、陰股部などが好発部位となります。寝たきり高齢者ではおむつ皮膚炎に合併してみられることが多くあり、また、片麻痺で動かない握った手の内側や人工肛門の周囲にも好発します。直接患部に触れることで感染します。

## 2. ケアの具体的方法と注意

- ①手浴や洗浄で患部をよく洗い乾燥させます。「乾燥」がとても大切です。
- ②指の間がくっついていて湿っている時は乾いたガーゼをはさみ、まめに取り替えます。
- ③うがい、歯磨き、入れ歯の手入れなどで口の中をきれいに保ちます。
- ④おむつ使用者はぬるま湯で陰部洗浄し、よく拭き乾燥させます。  
なかなかよくなる時はおむつ交換の回数を増やしましょう。

## 3. 家族への説明

- ①湿って閉鎖されたところに好発するので清潔と乾燥に気をつけましょう。
- ②家にある塗り薬をむやみに塗らないで下さい。悪化する場合があるので、皮膚科の専門医に診てもらいましょう。
- ③患部をきれいに洗うかよく拭き、乾燥させた後に、指示された塗り薬を1日1～2回塗ってください。

## 4. 介護者の安全対策

- ①素手で触れても普通の石鹸を使い流水で十分洗えば感染する心配はありません。洗った後はよく拭き、乾燥させましょう。
- ②ガーゼ付救急バンソウコウは長時間貼りっ放しにしないで、1日1回は交換しましょう。交換時には患部をきれいに洗うかよく拭いて、しっかり乾燥させた後に新しいものを貼ってください。

## **5. その他**

### **1) 症状について**

- ・手
  - 1) 脳梗塞やリウマチのために手指の拘縮変形がある場合は、指の間が湿りやすく発症しやすくなります。
  - 2) 手指の爪周りが赤くなり、排膿したり爪の濁りや変形が見られます。  
※水仕事をする人に好発します。
  
- ・口
  - 1) 口角がびらんしたりむけてきます。
  - 2) 口腔内（上あご、歯ぐき、舌）に白い苔が付着します。
  
- ・会陰部
  - 1) 女性：膣の炎症と白い苔の付着がみられ、おむつをしている人に好発します。
  - 2) 男性：亀頭、包皮に白い苔が付着します。おむつを使用している人に好発します。

### **2) 治療について**

抗真菌薬の塗り薬（口内に塗布するものもある）や内服薬で治療します。

カンジダはステロイドの薬で悪化拡大をするので、素人判断で薬は使用しないで、必ず専門医の診察を受けましょう。